

交通安全

宣言都市

青少年愛護

かつやま

市 広 報

発行人 香川県東かがや市長 山内 隆
定 県 東 かがや 市 役 所 総 務 課

山村振興に一役

期待されるシイタケコ栽培



酒田地区、まひれゆく部落の汚名返上の一役担って北谷町木根橋の山林ではいまナメコのとりいれが行なわれています。

北谷町では生みゆく黒かや山村を救うべく同公団館や県林業振興所を中心に林野の開発、ナメコ、シイタケの栽培、手付け種蒔みの内職など町多あけて取り組んでいます。

なかでもナメコ、シイタケは木根橋部落を中心に十数戸の農家が栽培に着手しており、今春はシイタケ約三万九千、ナメコ約九千個を届け毎年ふやして行く予定です。

いまとれているナメコは、昨年春種を付けられたもので、一時取れたナメコ収穫再開後初の収穫なので量もわずかですが、来年、再来年と年々近づく栽培され、収穫期には相当数の出荷が見込まれています。

ナメコはキロ当たり、白三、田ぐらゐり業者が抱えていますので、農協の調整として、明るい未来が期待されます。

明治勝山版特集

かつやま明治写真集は本紙一月十五日発行の百四十一号で発表しましたが、その後四人の方から資料の提供がありましたので、さきに行なわれた明治百年記念日を期し、改めて本誌に集録しました。

写真左端は笠野小学校開校式風景 明治三十六年八月に行なわれた赤尾、笹尾、大塚、岩ヶ野、大矢谷、小矢谷、鷺宮の七字組合立笠野小学校の校舎新築竣工式。学校所在地は現平泉寺町笹尾地帯長坊山の山林三反歩工費二千七百餘円、校長は前田純也、組合管理者は武内鉄也(当時26歳)笹尾村長

(注) 屋根の上の人は研ませ待機中です。前列左端は武内村長

平泉寺町平泉寺 武内盛直氏所蔵

写真中下は 明治十年頃まで使われた手携機。このあと足でふんで織る「ボタン機」写真中上が大正十二年頃まで使われた。 勝山兄弟KKK蔵



明治四十五年八月に行なわれた斎藤勝山町長の町制行列が、本町南角を上長淵へ曲るところ。道路の真中を流れる川は情緒豊かなものであった。

本町二丁目 松村季夫氏所蔵

発行された「明金ハガキ」両面下のされている豪華な部 今井三郎氏蔵



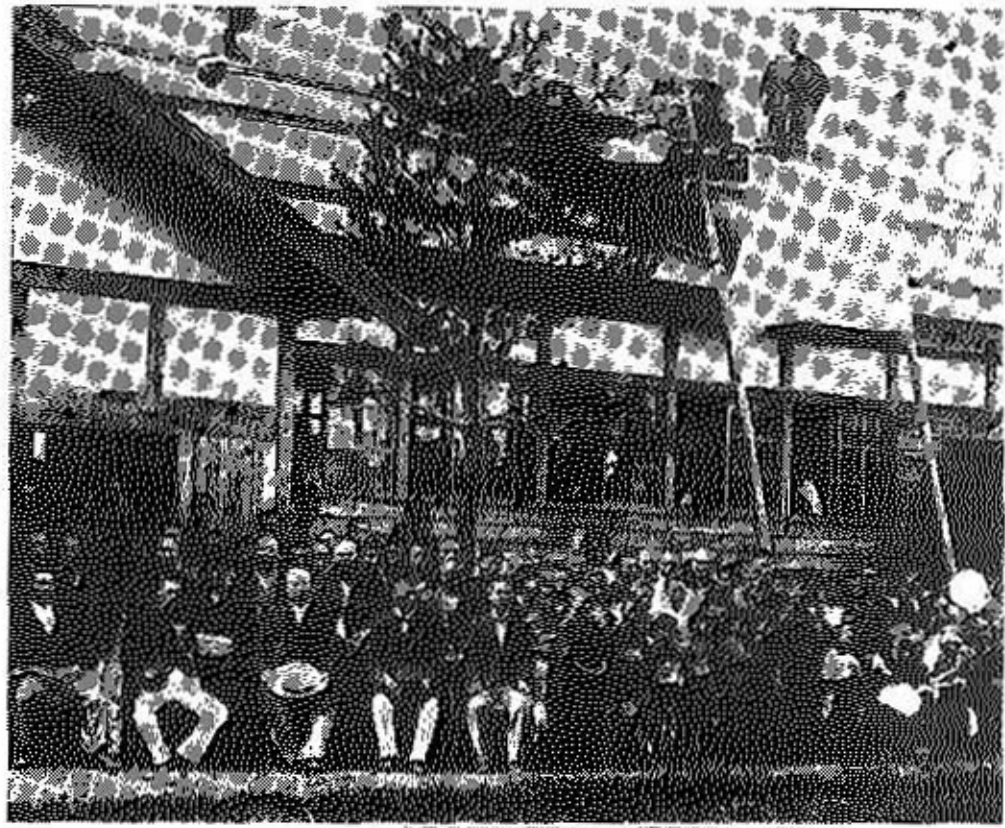
意見募集.....明治100年を期し次代へ飛躍しよう

明治100年は、近代日本の変革年であり、目ざましい発展をとげましたが、勝山でもそのまま繁栄のための基礎づくりの歴史であつたと言えます。この意義ある明治100年を次の200年へ向つていかに飛躍させていくかは、私たちこの世代に生きるものの課題です。

この機会に私たちの祖先が築いた郷土をみつめ、21世紀への発展策を、真剣に考えてみようではありませんか。.....市では、市民みんなが考え、話し合うため「勝山市の新しい時代をどう築くか」と題して意見募集をいたします。募集要項は次のとおりですが、個人はもちろんグループや団体で話し合われたご意見を応募くださつても結構です。たくさんのご意見をお寄せください。

勝山市の新しい時代をどう築くか

- ◇課題 勝山市を如何に発展させるか、産業、交通、教育、文化、観光どんなことでも可
- ◇規定 400字詰原稿用紙10枚以内
- ◇締切日 12月20日
- ◇発表 44年1月発行の市広報紙に掲載
- ◇送先 市役所総務課
- ◇資格 勝山に在住する人
- ◇入選 入選3点まで
- ◇賞金 1席1万円、2席5千円、3席3千円
- ◇主催 勝山市



明治38年
7月27日
撮影したもの



叙勲おめでとう

秋の生存叙勲は本市では、長年教育に勤められた伊藤保さんと、たばこ耕作功労者岡崎一さん、外勤警察功労の生田三男さんの三人が晴れの表彰を受けました。

勲五等瑞宝章
伊藤 保さん(73歳)



大正四年福井師範を卒業後、大野郡勝山町成福男子尋常高等小学校を勤められた。

校を譲り出した、荒土、奥谷高小などの教員を勤める。昭和二十三年に、勝山町立高等女子学校校長を最後とし、三十三年間の教員生活を終えましたが、退職後は勝山町および市教育長に選ばれ、教育振興に貢献されました。とくに勝山高校の創立と後援会の設立などには身をもって当たると、当山の教育界に大きな足跡を残されました。

勲七等瑞宝章
岡崎一さん(72歳)



平泉寺町笹尾
たばこ試験場卒業後大正十五年たばこ耕作委員として同所竹原出張所に勤務、昭和二年に勝山町売官出張所(現勝山出張所)に転勤し三十二年まで同所管内のたばこ耕作の指導に当たられました。

勲七等瑞宝章
生田三男さん(68歳)



勝山山元町三丁目
大正十五年に大野警察署へ勤務。昭和二十一年、警務局長に進んで退職。在職三十二年間に勝山、松岡、栗田部などの各署に転任したが、そのほとんどが外勤や出張所勤務で、「まさしいおまわりさん」として市民から親しまれました。

明治百年 勝山街道 (15)

地名所

▽芝原用水 松岡地帯から九頭龍川の水を取入れるこの用水は街道に沿って流れ福井城下の浄水となるが志比口で二口に分れる。二口川といふことにかかる橋が「あら橋」で、橋のためとに勝山道の石標もあった。
▽平岡山 志比口茶屋を出外れて右手に見える。山腹に勝松・昇光の二寺あり花と月の名所、福井市人の行き来地となっていた。山腹に松尾忠信の「半仙平國」が明治四十一年創設、青年少年を収容した。戦後はこの丘も用地造成で崩され、

かつての山容はない。
△吉田郡役所 街道の左手、用水を越えたところに、門松の役所建築があった。明治二十六年の設立で郡制廃止まで続いた。
▽丸山 山頂にオサカケ(御神)と呼ばれる白山権現を祀る。緑も美しい孤立した小山である。
▽陰山 このあたり開ける田野は、晴日にハンの木を植え、稲刈りに利用するが、奇観とされる。
▽追分 窓敷峠を越える永平寺道への分岐点、福井から一里、永平寺へ三里、松岡へ一里、道標も立つ。この永平寺道は、天降大神で知られた水谷屋敷が明治二十年に改修した。
▽葛島崎跡 本願寺北田邊出の草分け、蓮如も教説した。東西に分派する。十一月十八日の報恩講は、臨る。西廻跡寺屋敷は足羽七城の一、葛島城である。
▽清原山天龍寺 松岡町に入り街道わきにある。寶洞宗、松岡藩の菩提所、七月二十七日御祭は近郷より参来する。門前に西遊楼が立つ。奥の細道行脚の翁が立寄った。後に焼く七面山は松林美しく眺望もよく戦後「九頭龍公園」を造成した。
▽東古市 丸岡・鳴鹿の二道が分れる。鳴鹿舟橋が私設されたのは明治八年。昭和八年の十月陸軍特別大演習はこの一帯で行われ、対岸の丘に細野立所が設けられた。
▽表比三城址 綱ヶ岳山系の麓には越前国守野氏の花谷城址・葛島城址に、葛島城がある。

▽畑時能の墓 山王禪寺境内にあるを墓といえ、碑も建立した。
▽荒川興行寺 藤巻にあり、戦国時代起勢等とともに活動し志比本坊と呼ばれた。門前を過ぎて奥山中の道元禪師の故地古崎寺がある。明治二十五午仏心和尚が隆寺を復興した。
▽小仏 藤巻より小舟渡茶屋に至る際、山腹にある地蔵、淋しい道治はの敷いの石仏とされた。
▽白山稻花松 小舟渡橋跡、岸壁にあり、白山から流着したと伝え、松下に白山大権現を祀る。
▽赤岩 九頭龍川左岸の断崖、兵田の山内後月がここをトンネルを掘り丸井道全線が開通したのは明治二十六年。近くに小舟相ヶ淵、妙法ヶ島の遺跡がある。

火事はあなたをならつてくる

火の用心

増加する火災死亡者

これから火災シーズ
ン火気を取扱う機会
が多くなり一寸した不
注意から大きな火災や
焼死事故が起きがちで
す。

とくに最近、先日
の有様温火災のよう
に火災による死者やガ
ス風呂など、ガス発火
による負傷者がふえています。

火事を未然に防ぐため火は正しく取扱いま
ししょう。

正しい喫煙マナーを身につけま
ししょう。

△タバコの火にご注意▽

○タバコは、灰皿のある所で吸いまし
ょう。(所かまわず吸いがちを投げ捨てない
こと)

○紙タバコの悪い習慣は慎みましよう。

○紙煙の場所では吸わないように。

○灰皿には、必ず水を入れておきま
ししょう。

暖房器具は正しく使おう

△石油ストーブ▽

○器具はいつもきれいに。

○せまい場所、燃えやすいものの近くに
はおかない。

○使用中はそばを離れず、ストーブの
上には物のせまい。

○給油は必ず火を消してから。

○万一にぞなえ備火災の準備を。

△電気こたつ▽

○コードのいたみや
絡まりがないか点
検してから使う。

○安全保護装置の
取り替えは、必ず専
門店で、素人仕事は
しないように。

○取り扱いは正しく掛けるとんを半開き
に使用したり他の器具との併用はやめま
ししょう。

△タコ足配線は禁止。

○留守にする時には必ず遮込みプラグを
抜くことをご確認ください。

△やぐらにたき火▽

○火を入れないように。
○火を入れたとき火種を減さないよう注
意する。

△やぐらの上で洗たくもの乾かさないように。

○外出時には火の始末を完全に。



△プロパンガス▽

○ボンベは屋外で風通しのよい固定し
た所に(特に通風や結露による転倒がな
いように)

○配管は適正なもので古いゴム管はす
ぐ取り替えましよう。(屋外ではゴム管はつ
ぶされやすいこと)

○器具はいつもきれいに。

○外出や就寝時には必ず元栓をしめる。

○防火の相談は消防署へ

●物の新、増、改修や火気設備、プロパ
ンガス、危険物の設置貯蔵、又は消火設
備などについては、各轄の消防署へ相
談してください。

し屏地埋

便所の冬じたくは早めに

そろそろ冬ごもりの準備
がはじまりますが、便所の
汲み取りは早めにすませま
ししょう。

毎年、年末にはきまって汲み取りの注文
が殺到します。しかし、し屏地埋溝の一口
の処理能力には限度があり、年末になって
業者に汲み取りを急がれても受け入れるこ
とが出来ない場合があります。

また冬期間は料金が少し高くなりますの
で各家の準備を急いで早く汲み取りを
すますようにお願いいたします。

1日1円があなたを守る

交通災害共済すでに16人、212万円を給付

◇7月1日からはじまった交通災害共済に勝山市で
は9,800人が加入しております。
そしてこの4ヶ月間に死に4人で2百万円、負傷12
人で12万円が給付されました。

勝山市内で今年こまて10人が奪い生命をうばわれ
91人がけがをされました。いつ、どこで、だれが事故
にあつかわかりません。いつでも加入できます。

万一にぞなえ未加入の方は、今すぐ加入しまし
ょう(申込用紙は市役所・公民館にあります)

いま加入されると1人150円(3月まで)で次の見
舞金が補償されます。

1. 死亡=50万円
2. 6月以上治療を要する傷害=10万円
3. 3月以上治療を要する傷害=5万円
4. 1月以上治療を要する傷害=2万円
5. 1週間以上治療を要する傷害=5千円



みんなで加入しまししょう

善意銀行

10月31日までに善意銀行へ預託されまし
た方は、次のとおりです。

- 金沢口庫 北郷公民館 11千円、木下
喜久夫(本町二丁目) 11千円、小林和広
(北郷町内比呂) 11千円、柳原とみ子(沢
町二丁目) 11千円、多田留吉(栄町二丁
目) 11千円、横井直樹・竹生美二・
竹中昭雄(北郷町坂東島) 11千円、原名
(元町三丁目) 11千円、佐野英代子(下
毛屋) 11千円、島田康弘(東町東角)
11千円、島田裕昭(東町東角) 11千円、
橋本一八十四、沢田隆夫(沢町) 11千
千円、田原光広(福井市新町) 11千円
水上敏(荒土町新野口) 11千円、荒井

自衛官募集

あなただけ国家公務員になれます。
●必死覚悟 18歳~24歳の男子
●待遇 週(1)、衣、食、住の外、賞
与が年3回支給されるので実質給与は月
額3万5千円程度になります。(2)、15
年勤務すれば年金支給も与えられます。
(3)、4年以上で満期退職した場合、民
間会社への就職試験が受けられます。
◎申し込みは勝山市役所総務課へ

重実(元町二丁目) 11千円、

交通安全灯を寄贈 北郷勝山営業所
(所長柳田君) は交通安全の一助にと交通
安全灯一基を市へ寄贈。